

平成18年度 第3セクター・農業公社 決算状況

(H18/4/1 ~ H19/3/31)

万円以下四捨五入

会 社 名	売上収益 その他収入	(内 委託金・補助金)	売上原価 その他費用	当期純利益
㈱ 帝 釈 峡 ス コ ラ	1億2,264万円	779万円	1億2,569万円	▲23万2,456円
㈱ さんわ182ステーション	3億1,044万円	208万円	2億4,968万円	197万417円
㈱ 油 木 特 産 販 売	1億378万円	18万円	1億368万円	7,518円
㈱神石高原直売公社まるごと市場	2億5,397万円		2億5,195万円	190万3,541円
㈱ 神 石 高 原 農 業 公 社	6,521万円	450万円	6,653万円	104万6,288円

こんな質問がありました

問 第3セクターの中には、運営補助を受けながら黒字を出し、税金を払っている。このことはどうか。

答 独立採算が原則であり現在は是正措置に取り組んでいる。

問 ㈱神石高原直売公社の棚卸額が他店に比べ極端に少ないのは。

答 加工品など、保存可能なものが少ないため。

問 ㈱神石高原農業公社の定款を変更した理由は。

答 遊休地でトマト栽培等行ない売り上げを増やし、自らの経営努力により利益を増やすため。

問 ㈱神石高原農業公社の運営補助金600万円を450万円にしたのは。

答 決算精査の中で150万円辞退の申し出があった。予算計上が過大の場合、支出の時に検討している。公社の場合、独立採算制を追求し、受託料を高くすると利用者の減少をまねく。これは農地荒廃につながる。

問 トマト工房は赤字でも続けるのか。

答 トマトの加工とあわせ、販売促進に努力する。

問 ㈱帝釈峡スコラの管理委託料70万円の減額は、18年度予算で委託料を10%カットしたため。